



おぐら

発行

角館中学校PTA広報部

印刷 / 膳写堂印刷



煌星

ひとりが輝く、みんなが輝く

～認め合おう 友達のよさ つなぎ合おう 思いやりの心～

輝き続けてください

角館中学校長 藤澤 昌

「記録的・想定外」という言葉が何度も使われ、天候不順、災害の多い年度だったと思います。

春、いつまでも続く寒さで、角館の桜は連休明けに開花。その遅れにより、全校生徒で花見をし、心豊かな一時を共有できました。

夏、豪雨により、市内でも悲しい災害が発生しました。野球部の八年ぶりの全県大会出場も、降雨による順延、小雨、雷の音を遠くに聞きながらの応援。しかし、全校が一つになれた瞬間でした。

秋、雨や台風で多くの行事が中止や延期になり、「天（気）」は角中を見放しています。

卒業によせて



卒業生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。

子供達が無事、

中学三年間の学業を修め、身も心も大きく成長した姿を見る度に、一人の親としてPTAに関わる者として、感謝の思いでいっぱいです。

さて、卒業生の皆さんはこの角館中学校で過ごした三年間を振り返って、今どんな思い出が浮かんでいますか。修学旅行、すずかけ祭、そしてクラスやクラブ活動での仲間達と共に笑い、時にはすれ違いで悩んだこともあったでしょう。しかし今はその一つ一つが、あなた方一人一人の大切な思い出に

PTA会長 鈴木 学

なっているのではないのでしょうか。

春から新しい環境の中で、皆さんはまたさまざまな経験を重ねていくことでしょう。人は一人では生きて行けないものです。人に傷つけられ悩むこともありますが、それを癒してくれるのも、やはり人の優しさです。相手の気持ちを大切に思いやり、お互い助け合えるようないい友人を、どうぞたくさん作ってください。そしてこの角館の地には共に育った仲間がいること、お世話になった担任の先生をはじめ、教職員の先生方がいらっしやることを、どうぞ忘れないでください。皆さんの未来に幸多かれと願っております。卒業、心からおめでとう。

卒業おめでとう

煌星 一人一人の輝きを大切に

三年部主任 小笠原 直子

例えば、東日本大震災から間もなく、混乱の中でスタートした煌星学年の中学校生活でした。あどけない表情で、目をキラキラさせていた入学当時の姿が、昨日のこのように思い出されます。

たくさんの方々の行事や毎日の部活動、そして泣いたり笑ったりした日々の生活の中で、皆さんは少しずつ、そして確実に成長してまいりました。特に今年一年は、全校の先頭に立ってリーダーシップを発揮していた姿に、頼もしさを感じて

いました。さらに、皆さんの明るさ、素直さ、優しさを感じることも多く、心の成長をうれしく思っていました。

「煌星」という学年ネームは「一人一人の輝きを大切にしよう」という思いで付けられた名前です。学年ネームのように、これから切り開いていく新しい世界で、一人一人が輝きを失わない煌星になりますように、心から祈っています。

旅に出よう

三年学年部長 阿部 聡

煌星学年のみなさん、卒業おめでとうございます。

角館には年間約二〇〇万人を超す観光客のみなさんが国内はもとより海外からも多数訪れている。旅の醍醐味はそこでしか体験できない文化や自然を五感で感じながら、地元の方々と交流をすることだと思っている。

旅の原動力は向上心と好奇心で形作られていると思う。卒業も一つの旅立ちである。その昔、人類は五百万年前東アフリカで誕生し、ユーラシア大陸、北アメリカ大陸を経て、南アメリカ大陸最南端ま

で到達した。地球に生きる全ての人類は、この偉大な旅の中にいるといつても過言ではない。太古の人類が何万年、何世代にもわたって旅を続けたDNAは、確実に私たちの身体の中に受け継がれているはずである。

叡智をもって果敢に進んだ人類の祖先に倣い、みなさんにも大いに旅に出てほしい。必ずや何物にも代え難い貴重な体験や、出会いが満ち溢れているはずである。将来、人間力を高めたみなさんにお会いすることを心から楽しみにしている。(三D 真吾)

巡り合いを大切に

佐々木 伸悦

煌星学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前、小学校の卒業式は東日本大震災直後の卒業式でした。あたり前のことがこんなにもありがたいことなのかを感じながら一日が過ぎました。気づけばもう三年、あつという間でした。さて中学校生活、行事、部活動にと皆さんの経験の中には、真剣に向き合い指導してくれた先生方、何でも話せる友人、地域の方々とかさんの出会いがありました。すぐには、わからないかもしれませんが、この出会いが、これからの人生に心からの感謝を感じる日がくることを願っています。

四月からは、青春が始まりますね。中学校同様に人との巡り合いを大切にしたいと思っています。泣きたい日もあるでしょう。楽しい日もあるでしょう。そんな時に、皆さんの隣には共に語り合え、共に支え合う友人や先生、家族がいることを忘れないでください。最後に煌星学年の皆さんのご健康とご多幸を心よりお祈りしています。(三A 想太)

これからも一緒に

仙北谷 敦子

煌星学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

節分の赤鬼、青鬼に青ざめた幼少時代。自分の得意なことに少しづつ気付き始めた小学時代。そして親よりも視界が高くなった中学時代。個人差はあっても皆、確実に成長しています。喜ばしいこ

とです。

中学生になってからは、世の中へ出て体験することも多く、自分がどのような人間なのか見えてきたのではないのでしょうか？

皆さんの前には、まだまだ長い道が続いています。その道の途中で沢山の人と出逢い、色々なことを経験し、失敗したり、恥をかいたり、泣いたり、笑ったりしながら学んでゆくのです。失敗を繰り返しても、決してヤケにならないで下さい。嫌なことも嬉しいこともすべて無駄ではないのです。そんな経験をさせてくれた人達に、出来るだけ感謝してみてください。きつとその心が自分の宝物となり、素敵な大人へと成長させてくれるはずですよ。親達も皆のおかげで成長しました。ありがとう。これから、笑顔忘れずに、一緒に成長していきましょう。(三B 涼)

未来へ向かって

鈴木 歩美

煌星学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

大きめの制服に袖を通し緊張した面持ちで座っていた入学式がいこの間のように思い出されます。今では心も体も大きく成長した姿に目を見張るばかりです。

皆さんは三年の月日をどのように過ごせましたか。数々の教科書を背負い、すずかけの道を通いましたね。多くのことを学び、いろいろなことが身に付いたと思います。そして皆さんの行事や部活動で一喜一憂しながら過ごした時間、先生方や友達との関わりの中、築かれた絆は一生の宝物になるでしょう。これからは大人になるための準備の期間に入ります。今まで以上

にいろいろな経験をし、思い通りにならないこともあると思います。そんな時は見守っている家族や力になってくれる友がいることを思い出してください。そして自分に自信と一歩踏み出す勇氣を持ち、未来に向かってさらに輝きながら羽ばたいてください。(三C 峻)

『前へ』 日辻 知子

日辻 知子

煌星学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、子供達を温かくご指導してくださった先生方、ありがとうございます。真新しい制服に身を包み颯爽と迎えた入学式から、新しいステージへと向かう卒業式までの三年間、皆さんは数多くの喜びや楽しみ、悲しみや苦しみを経験し、そしていつもそばには、友達や仲間達がいて力になってくれたこと、だと思います。これから先も、中学校での友達は、様々な場面でもとも頼りになる存在になってくれます。

四月から、それぞれの将来に向けて、新しい生活が始まります。自分の可能性を信じ、一生懸命に努力することで、必ず結果は付いてきます。

笑うこともあれば、涙することもあると思いますが、すべては大人になるための経験という勉強です。最後に、人生は山あり谷あり、上り坂もあれば下り坂もあります。そして時には「まさか」もあります。どんな時にも経験を生かし、対応できる人になってください。いつも心は前向きに、自分の決めた未来に向かって、少しずつでもいいから、『前へ』。(三D 功榮)